

中九州横断道路「大津道路」の
新規事業採択時評価に係る手続きの着手について
(大津町長コメント)

本日、国土交通省から中九州横断道路「大津道路」について、令和6年度の新規事業化に向けた「新規事業採択時評価」の手続きに着手するとの発表がありました。

中九州横断道路は、命の道、経済の道、地方創生の道として、本町や熊本県のみならず九州の一体的な発展を図るためにも大変重要な道路です。

世界的半導体企業であるJASM第1工場の隣町への進出決定以降、本町への企業進出の動きが加速し、既存の企業においても拡大・拡張が相次いでいるなか、今回の新規事業採択時評価に係る手続きの着手につきましては、地域交通の円滑化が期待されるとともに、更なる人や物の動きを生み出し、町や県内はもとより九州全域の活性に大きく寄与するものであると確信しています。

これまでご尽力いただいた国、県、国会及び県議会議員、関係団体並びに沿線地域の皆様に心から感謝し厚くお礼申し上げます。

今後、切れ目なく事業が推進されるよう中九州横断道路「大津道路」の早期の事業化をお願いするとともに、本町としましても中九州横断道路全線の早期完成に向けて、国、県、沿線自治体等と連携を図りながら全力で取り組んで参ります。

令和6年3月1日

大津町長 金田英樹